

平成27年11月11日
東北地方整備局

入札監視委員会の審議概要について (第一部会第2回定例会議)

東北地方整備局入札監視委員会の平成27年度第一部会第2回定例会議は、平成27年10月14日(水)に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要(別紙)についてお知らせします。

なお、第一部会第2回定例会議では、委員会が抽出した案件9件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局

(第一部会) 仙台市青葉区二日町9番15号

主任監査官

入札契約監査官

契約管理官

技術開発調整官

TEL (022) 225-2171 (代表)

佐藤 一男 (内線2114)

岩村 毅 (内線2220)

黒沢 勇 (内線2222)

横山 喜代太 (内線3120)

東北地方整備局 入札監視委員会（第一部会） 審議概要

開催日及び場所	平成27年10月14日（水） 東北地方整備局 大会議室		
委員	部会長 伊東 満彦【(学)東北学院大学 法科大学院 教授】 部会長代理 久田 真【(国)東北大学大学院 工学研究科 教授】 委員 牛尾 陽子【(公財)東北活性化研究センター フェロー】 委員 泉田 成美【(国)東北大学大学院 経済学研究科 教授】		
審議対象期間	平成27年 4月 1日 ～ 平成27年 6月30日		
審議案件	総件数 9件 （別紙－1 審議案件一覧のとおり）		
工事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）	0件	(備考) (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況について報告を行った。
	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）	6件	
	工事希望型競争入札	0件	
	指名競争入札	0件	
	事 随意契約	0件	
	建設コンサルタント業務等	2件	
役務の提供等及び物品製造等	1件		
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答	別紙－2のとおり		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	別紙－3のとおり		

審議案件一覧

【工事】

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	雄物川上流強首地区築堤工事	一般土木工事	15	15	H27.6.2	秋田振興建設(株)	179,280	87.8	湯沢
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	新堀道路舗装工事	アスファルト舗装工事	17	17	H27.6.17	鶴岡建設(株)	105,840	88.4	酒田
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	八戸国道維持補修工事	維持修繕工事	1	1	H27.4.1	寺下建設(株)	307,800	97.8	青森
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	福島国道維持補修工事	維持修繕工事	1	1	H27.4.1	寿建設(株)	365,040	99.9	福島
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	旧北上川石井水門ゲート設備新設工事	機械設備工事	7	6	H27.5.28	旭イノベックス(株)	419,580	89.1	北上川下流
一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	吉田川上流北河原橋上部工事	鋼橋上部工事	6	6	H27.6.1	矢田工業(株)	44,280	87.0	北上川下流

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業務名	業種区分	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式	三陸北部地区積算技術業務	土木関係建設 コンサルタント	1	1	H27.4.10	三陸北部地区 積算技術業務 東北地域づく り・岩手パブリッ ク設計共同体	189,000	91.7	三陸国道

入札方式	業務名	業種区分	手続への参加資格及び 業務実施上の条件を満 たす参加表明書の提出 者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
簡易公募型競争 入札方式	仙台管内橋梁点検業務	土木関係建設 コンサルタント	4	4	H27.4.13	仙台管内橋梁 点検業務オリ エンタルコンサル タンツ・エイテッ ク設計共同体	236,304	86.5	東北技術

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業務名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式	カラーコピー単価契約	役務の提供等	2	2	H27.5.20	(株)草野測器 社	1,032	19.0	郡山国道

別紙-2

1. 報告	
意見・質問	説明・回答
<ul style="list-style-type: none"> ・封書で寄せられた談合情報で中心企業とされているA社は、現に落札しているのか。また、当局で裏づけ調査は行ったのか。 ・他に記載されている企業は実在しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当案件は、東北管内を5件に分け入札を行い、昨年は1件、過去5ヵ年では3件を落札した実績がある。公正取引委員会に報告をしている。 ・実在している。

2. 審議	
意見・質問	説明・回答
1 雄物川上流強首地区築堤工事 2 新堀道路舗装工事	<ul style="list-style-type: none"> ・雄物川上流強首地区築堤工事は有資格登録のランク順で、新堀道路舗装工事は評価値順に作成したものの。今後、表記方法については統一する。
3 八戸国道維持補修工事 4 福島国道維持補修工事	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸国道維持補修工事の工事延長は81.7Kmで、福島国道維持補修工事の工事延長は58.6Kmであるが、工事延長の短い福島国道維持補修工事の方が契約金額が高いのは何故か。 ・福島国道は、県境が工事区間に含まれており、近隣の米沢市など、入札に参加出来るよう地域要件を拡げないと1社独占のようなものではないか。 ・八戸国道は、青森地方生活圏と南部地方生活圏を地域要件とし、対象業者数が49社、福島国道は福島地方生活圏で15社となっている。八戸国道は地域要件を2つにしているが、福島国道では、米沢市から峠を越えてくるのは難しいとしても、郡山市方面や宮城県南部の白石市を含めても構わないのではないか。入札は競争性の確保が重要な問題である。
	<ul style="list-style-type: none"> ・福島国道は工事延長 58.6Km のうち四車線が約52Kmで、八戸国道は工事延長 81.7Km のうち四車線が約25 Kmと、福島国道の車線数が多くなっている。また、福島国道のほうが交通量も多いため、各種作業の数量が多くなっているものである。 ・地域要件は福島地方生活圏内としており、工事エリアと一致させている。 また、この工事は、災害対応を含む維持管理を行っており、何かあれば、直ぐ対処しなければならないため、地域要件を福島地方生活圏とした。 ・八戸国道では、現場に駆けつけるまでの時間や、下請会社、資機材や作業員の確保が整っているか等を勘察し、2つの地方生活圏を地域要件としており、地域毎に違うこともあるので、青森の実態が他の地域に当てはまるわけではない。

<p>競争性を高めるためには、地域要件を見直して入札を行い、その結果を見てみるということは何らか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・維持管理系の工事は全国的に入札は低調なのか。 ・例えば、除雪だけとか、除草、清掃だけを切り取って発注するというのは難しいのか。 ・作業の数量が増えた場合、どのように対応するのか。 ・一次下請と二次下請の役割分担は。もし、下請会社に何らかの瑕疵があった場合の責任は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおり。 ・除雪だけを切り出した場合、冬場だけの作業となり、年間を通じた作業でなくなる。通年での作業員の確保の問題も生じ、難しい。 ・災害等、発注者より指示したものは、協議のうえ設計変更の対象とし、精算している。 ・主要な作業は元請で行い、例えば、通常時の巡回等は下請会社が行うこととなっている。下請会社に何らかの瑕疵があった場合は、元請会社が責任を負うこととなる。
<p>5 旧北上川石井水門ゲート設備新設工事</p>	
<p>質問なし</p>	
<p>6 吉田川上流北河原橋上部工工事</p>	
<p>質問なし</p>	
<p>7 三陸北部地区積算技術業務</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・1者応札となっているが入札方式はこれでよいのか。競争になっていないのでは。 ・H25～H26に3件受注したT社と、今回受注した共同企業体はどのような関係なのか。何故、単独で入札に参加しなかったのか。 ・対象業者数のうち、実質的に競争が存在しているのか判断できない状況。実際にどの位の業者が参加できるのか分かるような資料にならないのか。 ・ある程度分割して他の業者も応札しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般競争入札方式であり、入札参加要件が整っていれば、誰でも入札できるように門戸を広げている。発注者支援業務については、内閣府に設置された第三者委員会による入札参加要件の審議を経た上でやっている。市町村の業務実績まで門戸を広げている。1者応札の要因としては、技術者の確保が一番厳しいのではないかと思われる。 ・今回はT社とI社の共同企業体として入札参加したものであるが、T社とI社は別々の会社である。本業務の契約期間は2年間であり、技術者を確保するのが厳しいことから今回共同企業体で参加したと推察される。 ・それぞれの業務ごとに実績を検索することは可能だが、市町村や民間の実績がある企業までのデータはないので難しい。 ・積算資料等を作成するにあたり、一つの工事の中

<p>ようにすることはできないか。</p>	<p>にトンネルや橋梁など複数の工種があるため分割は出来ない。また、震災前は2地区に分けていたが、最近では業務量も多くなり3地区に分けている。</p>
<p>8 仙台管内橋梁点検業務</p>	
<p>・点検終了後の記録したものは蓄積されているのか。また成果品を納品する際、電子媒体等の指定はあるのか。</p>	<p>・点検調書に記載し提出いただき、それをサーバーにデータベース化している。</p>
<p>9 カラーコピー単価契約</p>	
<p>・ 落札率19%ということで、そもそも予定価格の設定に問題がないか。</p> <p>・ 受注者に利益はあるのか。</p> <p>・ 参考見積書を提出した業者と、今回受注した業者とは重なるか。</p> <p>・ 成果品は業者が発注者側に持って来るのか。</p>	<p>・ 過去に見積書提出実績のある3者に、本業務の予定数量、期間等を明示したうえで参考見積書の提出依頼を行い、そのうち2者から見積書の提出があり、総額が最も低い者の単価を予定価格とした。</p> <p>・ 受注者は大判対応のカラー複写機を複数台所有しており、自社での作業が可能である。また、複写機メーカーの代理特約店であり業務内容が複写機による機械作業のみということで、当該金額で応札したと聞いている</p> <p>・ 重なる。</p> <p>・ 成果品は事務所に納めてもらう。なお、受注者と事務所の距離は200mと近いとため、コストもかからないというメリットもあると思われる。</p>

3. 委員会による意見の具申又は勧告内容

本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はない。

ただし、今後の入札契約手続きにおいて意見要望がある。

- ・入札参加者数1者という案件について、いずれも競争性の確保が必要な案件と思われる。
地域要件の見直し、発注方式の見直し等、より一層の工夫を行い、競争性の確保が図られるようにしていただきたい。

【当局からのコメント】

要望については、今後の入札・契約業務の参考にさせていただきたい。

あわせて、本日の報告・審議の中で頂きました委員の皆様方からの疑問やご意見を含めて今後の入札・契約業務に反映させて頂く。

また、さらなる透明性、競争性の確保に努めて参りたい。